



データボード ④③

- ① 石川県鹿島町石動山子乙部1-1
- ② 6 m×5.5 m×0.6 m
- ⑤ 石動山開山祭

海抜五六五メートル、ブナの原生林におおわれた石動山にある「イワシガ池」は、江戸時代は石動山の神仏に供える聖なる水を汲み取る鬮伽の池、または雨乞いの池と呼ばれ、この池の水は現在も万病に効く霊験あらたかな水といわれて、参詣者が持ち帰る習慣が続いている。

イワシガ池という名の由来は、岩清水が訛ったものとか、かつて飢饉が起こったときにイワシが湧いて飢えを凌ぐことができたからだというように伝えられている。

昭和六十三年には、史跡石動山環境整備事業の一環として復元整備が行われ、町民いこいの場となっている。